

報告事項ケ

中国・韓国図書館との国際交流について

中国・韓国図書館との国際交流について、別紙のとおり報告します。

平成29年11月22日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

中国・韓国図書館との国際交流について

図 書 館

図書館では環日本海交流室を設置し、鳥取県が進めている環日本海諸国との交流を文化面から支援している。

韓国江原道春川市図書館及び中国河北省図書館との図書交換による交流は約20年が経過し、その間、中国では電子化図書館事業が進み、韓国では特に子ども向け図書の出版が大きく発展する等、図書館をめぐる状況は激しく変化している中、このたび、両館より招待を受け、現地の図書館事業について視察した。

1 「韓国江原道春川市図書館」の視察報告

【日時】平成29年9月9日（土）

【場所】韓国江原道春川市図書館

【視察者】鳥取県立図書館長 福本慎一 他1名

【内容】

○新館開館式

今回新館として開館した春川市立図書館は、市長の選挙公約である児童サービスに特化した「おもちゃ・子ども図書館」として建設されたものであり、開館式の進行等は、子どもを主役にしたものであった。

広報に力を入れており、会場となる図書館前の広場には多くの市民、特に子ども連れの方々が多く集まっていた。

市長の提案で、幼児の部と初等部から最も図書の貸出冊数が多い子どもが一人ずつ代表として図書館への感謝の言葉を述べ、テープカットも子どもたちだけが行った。開会式終了後は、オープンした図書館へ多くの市民が入場していき、館内は熱気にあふれていた。

○児童サービスに特化した図書館づくり（春川市立図書館の洪館長談）

- ・子どもに本を好きになってもらいたいということが第一の目的。遊具やおもちゃのすぐ近くに絵本や児童書があり、遊具等で遊ぶ中で自然に本へ手を伸ばしてもらえることを想定。
- ・韓国では、未婚や子どもを持たない若者が増えているが、そんな若者たちに、子どもと一緒に行くことができる居場所があると知ってもらい安心感を提供することが第二の目的。

写真1 春川市立図書館外観

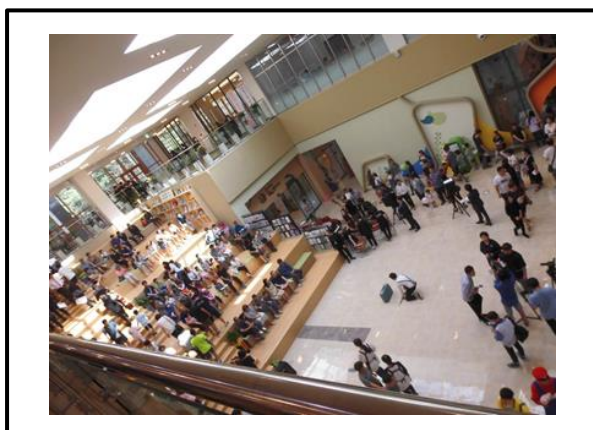


写真2 館内広場（エントランスホール）



写真3 子どもたちによるテープカット

2 「中国河北省図書館」の視察報告

【日時】平成29年10月11日（水）、12日（木）

【場所】中国河北省図書館、石家荘市図書館、滄州市図書館

【視察者】鳥取県立図書館長 福本慎一 他3名

【内容】

(1) 視察

河北省図書館は、平日の午前中にもかかわらず、青少年から高齢者まで幅広い年代の多くの方の利用が見られた。ICT活用が進んでおり、一方で国の方針もあってか地域資料・古典籍の保存修復にも力を入れていた。

その他、河北省図書館の案内で、石家荘市図書館、滄州市図書館も視察させていただいたが、それぞれ大変個性的な図書館であった。

(2) 協議内容

河北省図書館からは、館長、両副館長を始め合計9名が協議に参加。鳥取県立図書館の4名、通訳の国際交流員1名と協議。

- ・相互訪問については、今回、10数年ぶりの訪問を行ったが、今後も人の交流が必要であり、特に、実際に業務を担当する職員の交流の重要性について共通認識。
- ・交換図書については、利用状況について相互に説明し、交換図書の選定へ反映させることを検討する。石家荘もマンガやアニメを活用した「中国北方動画の都」であり。まんが王国の鳥取県と相互に協力できないかという提案があった。
- ・相互協力については、図書館は文化の使者であり、相互の文化を理解する上で重要だという認識から、例えば両館名を冠した共催事業として河北の写真展示会等のイベントを開催してはどうかという提案があった。

(3) 所感

河北省図書館を始め視察先の図書館は、自動貸出返却機の導入や、ICT活用・デジタル化が進んでおり、非常に先進的で読者へのサービスを重視しており、事前の予想以上に大いに参考になる視察であった。また、図書交換の協定についての協議も、相互の理解と親交を深めたことで、さらに詳細な内容の検討につながるものと思われる。

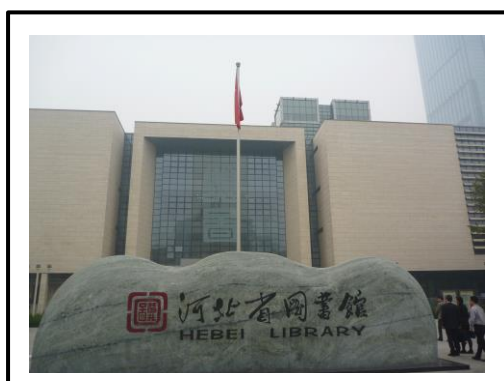


写真4 河北省図書館外観



写真5 図書交換についての協議

写真6 鳥取から送付した図書